

◆蝦夷地経営の中心としての五稜郭◆

1853年(嘉永5年)、M・C・ペリー提督率いるアメリカ艦隊の来航により、翌年、幕府は日米和親条約を締結。開港場となった箱館に、幕府は箱館奉行を派遣しました。

箱館奉行の任務は開港場の統治や諸外国との対応、蝦夷地の開拓など多岐にわたり、特徴的な地形により防衛上の問題があると考えられた箱館の防備強化も急がれました。奉行は、箱館山麓で港からも至近の位置にある奉行所庁舎の内陸への移転を計画。庁舎を防備する城塞の建設には西洋式の築城技術が採用され、1857年(安

政4年)工事に着手した城塞は、その形から「五稜郭」と呼ばれました。

8年に及ぶ工事期間を経て、1864年(元治元年)6月、五稜郭内に移転した「御役所」(奉行所)が開庁。五稜郭は蝦夷地経営の中心地、外交の最前線となったのです。

その後五稜郭は、箱館戦争の激動を経て、1914年(大正3年)には公園として開放され、以来市民の憩いの場となって親しまれています。また、1922年(大正11年)には国の史跡、1952年(昭和27年)には特別史跡に指定され、幕末・明

治維新の歴史を物語る文化財として、2010年(平成22年)には、1871年(明治4年)に解体された旧奉行所庁舎が郭内に復元されました。



4年間の工期をかけて、往時の建築を忠実に再現した箱館奉行所(2010年完成)

- ◆同月二十五日
榎本軍は政府軍の軍艦甲鉄を奪取するため、北七郎の寄港地宮古湾でこれを襲撃するが失敗。
- ◆同四月九日
新政府軍第1陣、乙部村に降。同四月十一日(二十五日)二股口守備の末、二隊銃撃戦で政府軍の進撃を食い止める。
- ◆同五月十一日
政府軍箱館総攻撃開始。土方歳三戦死。同五月十一日。千代田砲台陥落。中島三郎助父子戦死。同五月十八日。榎本軍降伏。五稜郭開城。
- ◆(八十七年(明治四年))
奉行所庁舎を解体。公園として般に開放。
- ◆(九三年(大正十一年))
国の史跡に指定。
- ◆(九五年(昭和十七年))
国の特別史跡に指定。
- ◆(二〇〇年(平成二二年))
奉行所庁舎の部を復元公開。
- ◆(二〇四年(平成十六年))
五稜郭築造五〇年。
- ◆(二〇一九年(令和元年))
戊辰戦争終結五〇年。

第54回 五稜郭祭 Hakodate Goryokaku-Sai

5/20
土

碑前祭

- 「中島三郎助父子最後之地」碑前 10:00
- 「碧血碑」前 10:50
- 「土方歳三最期之地」碑前 11:30
- 五稜郭タワー「箱館戦争供養塔」前 12:00

函館市芸術ホール

- 箱館五稜郭祭記念式典 13:00
- 2023(第36回)土方歳三コンテスト 全国大会(ちびっこ土方発表会) 13:15

5/21
日

維新行列・音楽パレード

- 中島町廉売通り 維新行列出発地点 13:00
- ▼千代台公園 音楽パレード出発地点
- 行啓通り 音楽パレード・維新行列 13:15~14:30 (戦闘パフォーマンス 14:00~14:10頃)

開城セレモニー

- 五稜郭公園特設ステージ 戦闘パフォーマンス 15:00

※開催において多少の変更がある場合がございます。

<https://www.hotweb.or.jp/goryokaku-sai/>

第五十四回 箱館 五稜郭祭 since 1970

2023.5.20sat - 21sun
HAKODATE GORYOKAKU-Sai



2023年5月20日(土)・21日(日) 2日間開催

主催/箱館五稜郭祭協賛会

後援/函館市・函館商工会議所・(一社)函館国際観光コンベンション協会
協力/陸上自衛隊第28普通科連隊・陸上自衛隊第11音楽隊・箱館復興社

◆日本の夜明け◆



ペリー提督

アメリカ東インド艦隊司令長官として、1853年(嘉永6年)6月、マシュー・ペリー提督は軍艦4隻を率いて浦賀沖に来航。日本に開国を求める内陸に向けられた備砲からは数多くの空砲が撃たれ、江戸市民を驚かせるとともに多くの見物客を集めた。翌1854年3月、日米和親条約が締結。開港が決まった箱館へは同年4月に来航した。1858年、64歳にて没。



榎本武揚

1836年(天保7年)江戸下谷生まれ。幕府海軍伝習所を経てオランダに留学。帰国後は幕府海軍副総裁に。1868年(明治元年)の江戸城明け渡し後、艦隊と旧幕府軍を率いて箱館に渡り五稜郭を占拠。旧幕府家臣による蝦夷地開拓を目指す。新政府軍との戦いに敗れ降伏。後に開拓使出仕となり千島樺太交換条約を締結した。1908年(明治41年)、72歳にて没。



土方歳三

1835年(天保6年)武州多摩郡石田村(現在の東京都日野市)に生まれる。文久3年の幕府兵募集に参加して上洛。同郷の近藤勇と新選組を結成し副長となる。鳥羽伏見の戦いで敗走。会津・仙台北へと転戦。そこで榎本艦隊と合流し蝦夷地へ向かう。1869年(明治2年)5月11日、新政府軍による箱館総攻撃の際に銃撃を受け、35歳の若さで壮烈な最期を遂げる。



黒田了介(清隆)

1840年(天保11年)鹿児島城下にて下級武士の長男として誕生。箱館戦争では征討軍の陸軍参謀として、箱館総攻撃を指揮。五稜郭落城寸前、榎本武揚から「万国海洋全書」を贈られ、その翻訳という大義のもと榎本の救命活動を行った。戊辰戦争後は北海道の開拓に尽力し、1888年(明治21年)内閣総理大臣となった。1900年(明治33年)、61歳にて没。

五稜郭の歴史

- ◆一八五七年(安政四年) 五稜郭の工事着手。
- ◆一八六四年(元治元年) 五稜郭の工事が完了し、箱館奉行所が郭内に開庁。
- ◆一八六八年(明治元年) 榎本武揚、幕府残存艦隊「開城」以下八隻に、幕府諸隊三千を率え、十月十一日旧暦蝦夷地撃ノ木現森町に上陸。
- ◆同十月十四日 箱館府知事清水谷公孝、五稜郭を放棄し青森に退却。
- ◆同十月十六日 榎本軍の大馬隊、七重道を経て五稜郭へ入城。越川退山より土方歳三入城。土方の指揮下にあった親兵隊、陸軍隊も翌日入城。
- ◆同十一月五日 土方歳三の指揮する新選組、親兵隊、陸軍隊等の諸隊七百名の総攻により松前城落城。
- ◆同十一月十五日 松前攻撃を支援する榎本軍の重艦「開陽」が江差で座礁。破壊。
- ◆同十二月十五日 画期的な入札制度(選挙)により榎本総裁以下閣僚を輩出。室蘭に開拓奉行「江差・松前」には鎮台を置き、榎本軍は全蝦夷地を平定。
- ◆一八六九年(明治二年) 榎本軍の追討令を発令していた明治新政府は、黒田了介に陸軍参謀、山田市の丞に海陸軍参謀を命じ軍を集結させる。

あの日、日本の気骨は五稜郭に集結していた。

維新行列の見所

一 箱館開港事始め

維新行列の先頭は箱館奉行所の旗手。旗は天地を表す黒い二本の線と日の丸です。続いて、竹内下野守保徳、堀織部正利熙、村垣淡路守範正の初期箱館奉行、五稜郭の設計・監督者である箱館諸術調所教授武田斐三郎成章、最後の箱館奉行杉浦兵庫頭誠、そして「箱館奉行所槍隊」です。

次いで、アメリカのペリー提督および旗手、アメリカ海軍儀仗兵。さらにロシア公使プチャーチン海軍中将与旗手、ロシア海軍儀仗兵。イギリス公使パークスと旗手、イギリス海軍儀仗兵。フランス公使ロッシュと旗手、フランス海軍儀仗兵。そしてオランダ商館長クルティウスと旗手、オランダ海軍儀仗兵と続きます。なお、実際に箱館に来航した人物はペリー提督とプチャーチン中将ですが、以上の5カ国が、いち早く徳川幕府と修好通商条約、いわゆる「安政の五カ国条約」の締結に成功し、箱館は国際貿易港として開港されることとなります。

開港事始めの最後を飾るのは軍楽隊（五稜郭鼓隊）です。

二 榎本政権誕生

榎本軍の先頭は星岡太郎が指揮する赤服金モールの「仙台額兵隊」。英国式訓練を受けた部隊です。次に登場するのは「伝習歩兵隊」。仏軍より派遣された教官団によって訓練された幕府正規軍です。

榎本軍の行列中央、三ツ葉葵の旗を先頭に、総裁榎本武揚、副総裁松平太郎、海軍奉行荒井郁之助の閣僚が続きます。次に登場するのは春日左衛門率いる「幕府陸軍隊」です。百六十名が蝦夷地へ渡り、各地で奮戦します。次いで宮古湾海戦の斬込姿を再現した「海軍伝習士官隊」が行進します。

次に登場する○印の浅葱色陣羽織の一隊は「会津遊撃隊」。隊長諏訪常吉以下七〇名は、会津の降伏を潔しとせず、脱藩して榎本軍に合流。隊長の諏訪は矢不來の戦いで負傷、箱館病院で没します。

続くは「衝鋒隊」。隊長の古屋佐久左衛門は洋学：兵学を学び幕府歩兵隊指図役に。大政奉還後は兵を募り奥羽越を転戦後、榎本軍に合流し蝦夷地に進駐。五稜郭で新政府軍の艦砲射撃を受けて負傷、戦没。

次は中島町にその名を残す「千代ヶ岡警備中島隊」。隊長中島三郎助は、長崎海軍伝習所一期生で榎本の先輩。浦賀奉行所与力時代、ペリーに応接したその人です。

そして、誠の旗を先頭に颯爽と登場するのは「新選組」。先頭の袖無陣羽織姿は陸軍奉行並土方歳三を警護する部隊であった「蝦夷新選組」で、後ろの白山形だんだら染めの羽織姿は京都時代の新選組です。

三 征討軍（官軍）上陸

いよいよ明治新政府の征討軍の登場。先頭を切るのは官軍のシンボル「錦の御旗」を奉戴する「錦旗護衛隊」です。

征討第一軍を率いるのは海陸軍参謀、長州藩山田市之丞。薩長両藩の士官がそれに続きます。黒地に赤線軍服は長州藩、鉄紺に黒線が薩摩藩です。

続いて武田菱の家紋がついた黒陣笠に黒羽織の一隊、官軍尖兵の「松前正義隊」が登場します。佐幕派の松前藩政に不満を持っていた、下国東一郎、三上超順ら少壮武士団を母体とする松前正義隊。一八六八年八月一日にクーデターに成功し、藩論を一举に勤王に統一。以来官軍蝦夷進攻の尖兵として活躍しました。

次いで「箱館府兵隊」が登場。明治元年閏四月、箱館府知事として赴任した清水谷公考は、箱館奉行より五稜郭を接收。しかし兵力がないため現地募兵したのが箱館府兵隊です。清水谷府知事と、彼を護衛する「府知事御親兵」が続いて登場。御親兵とは明治新政府直属の軍隊で、後の近代的海軍の礎となるものです。さらに軍監有地静馬が率いる「津軽藩士官隊」が登場。勇壮果敢な武運を誇り、戦功第一と評される働きを残しました。

征討軍の中央には、陸軍参謀黒田了介、海軍参謀増田虎之助、軍監前田雅楽、軍監田島敬蔵等の幕僚に諸藩の将が続きます。

官軍の指揮官が頭に被っているのは「シヤグマ」と呼ばれ、赤黒白の各色があり、戊辰戦争期特有の官軍の装束です。

なお、当時の軍服は幕府軍も官軍も似たようなもの。その識別のため、官軍側は二の腕に錦の印布「錦巾（きんきれ）」をつけていました。

四 開陽と黒船

維新行列に華を添える山車は、幕府がオランダに発注して建造した当時最強の軍艦「開陽」と、幕府に開国を迫ったペリー提督の黒船の一隻「ポーハタン」です。この維新行列は大道具、小道具に至るまで、資料に基づきできるだけ時代考証のうえ制作。しかし祭りでもあるため、多少の演出も施しています。ご了承ください。

さらに、五稜郭公園内特設ステージでの「開城セレモニー」もお楽しみください。

箱館五稜郭祭 憲章



箱館五稜郭祭は、安政元年（一八五四年）日米和親条約に基づき、ペリーが其艦隊を率いて箱館に来航してより、明治二年五月（一八六九年）箱館戦争終結迄を題材として維新行列に再現した。

其間郷土函館の基を築いた先人の遺徳を偲び、併せて戊辰、己巳の変に戦没した無名戦士の御魂の安らかならん事を祈り挙行するものであります。

碧血碑（へっけつひ）は、北海道函館市函館山に明治8年（1875年）5月に建立された戊辰戦争、特に箱館戦争における旧幕府軍の戦死者を追悼する慰霊碑である。土方歳三や中島三郎助などをはじめとする約800人の戦死者を吊っている。

